

延岡市地域公共交通活性化協議会

事業名: 令和7年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

概要



まちなか循環バス

フィーダー系統は①コミュニティバス・乗合タクシー24系統、②まちなか循環バス6系統を運行

【料金】①大人100円／中学生以下無料、②中学生以上200円／小学生100円／幼児無料

【運行主体】

○旧延岡線4系統・北浦線3系統・南部4系統

宮崎県タクシー協会延岡支部(宮交タクシー、延岡グリーンタクシー、扇興タクシー、宮崎第一交通)

○北方線9系統: あさひ観光バス

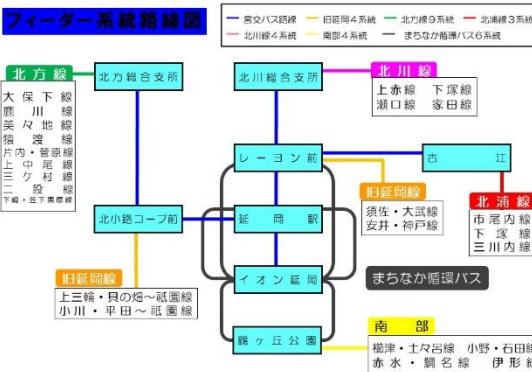
○北川線4系統: 延岡市(自家用有償運送)

○まちなか循環バス6系統: 宮崎交通

【現状】

延岡市では、郊外部(旧3北地域等)でコミュニティバスや乗合タクシーを運行しており、幹線系統の路線バス等と乗り継いで市の中心部へ通院や買物に行くことができるようになっている。

また、市の中心部においては、まちなか循環バスが路線バスと連動して移動の利便性を向上させている。自家用車の普及や人口減少等によりバス利用者が減少しているが、交通弱者の移動手段や観光客の利便性向上等、まちづくりにおいて公共交通の確保・維持は今後より一層必要である。



基礎データ

合併状況: 平成18年2月に北方町及び北浦町

平成19年3月に北川町と合併

人口: 11.1万人(令和7年12月1日現在)

面積: 868.02平方キロメートル

過疎地域等指定: 過疎、離島、山村

高齢化率: 35.71%

補助対象の系統数: 30系統(確保維持事業のみ)

自治体負担額: R4: 35,774千円 R5: 38,870千円 R6: 40,052千円

(確保維持事業対象の乗合タクシー・コミュニティバス・まちなか循環バス)

協議会開催数: 協議会3回(令和7年4月～令和8年2月)

計画、目標(Plan)

九州で2番目の面積を有する本市における地域公共交通ネットワークは、既存の地域間幹線・地域内幹線を骨格としつつ、市中心部の回遊性を高めるまちなか循環バス、それへのアクセスが困難な地域を運行するコミュニティバス・乗合タクシー等により構成される。一方で、公共交通の利用低迷や運転士不足などから現状のサービス水準維持が危ぶまれている状況である。

このような状況を踏まえ、本協議会は令和5年3月に延岡市地域公共交通計画を策定し、「市民の暮らしを支える市内交通ネットワークの最適化」「地域全体で育て支え合う持続可能な交通環境の創出」「多様な人と交通が集まり快適で賑わいある交通結節点の機能向上」「広域交通ネットワークの維持・活性化」という4つの目標を掲げ、住民ニーズ等に合わせた市内交通の再編による利便性向上を図るとともに、利便性・持続性・生産性の高い地域公共交通ネットワークへのリ・デザインを推進することとしている。

生活交通確保維持改善計画等の取組み(Do)

- 協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画などにより、コミュニティバス・乗合タクシー・まちなか循環バスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。
- 乗合タクシーについては、地域住民の要望を踏まえ、ダイヤ変更や路線変更を実施した。
- 令和7年1月から北部・南部まちなか循環バスの実証運行を開始し、4月から本格運行に移行した。
- 公共交通を活用した介護予防事業(以下「ケアプリのべおか」)により、高年齢層の利用促進を図った。

実施状況、目標の達成(Check)

■系統別の利用人数目標と実績(R6年10月～R7年9月)

目標達成(100%以上、A評価)

⑦下崎・笠下黒原線 ⑧片内・菅原線 ⑬上三輪・貝の畑～祇園線 ⑭安井・神戸～レーヨン線 ⑮須佐～大武線
⑯⑯まちなか循環バス ⑯⑯北部まちなか循環バス ⑯櫛津・土々呂線 ⑯小野・石田線 ⑯赤水・鯛名線 ⑯伊形線
一部達成(80%以上、B評価)

②鹿川線 ③二股線 ⑤三ヶ村線 ⑯小川・平田～祇園線 ⑯上赤線 ⑯瀬口線

未達(80%未満、C評価)

①美々地線 ④猿渡線 ⑥大保下線 ⑨上中尾線 ⑪市尾内線 ⑯下塚線(北浦) ⑯⑯南部まちなか循環バス

補助対象外(2.0人/回未満、D評価)

⑯下塚線(北浦) ⑯三川内線 ⑯家田線

全路線の約43%にあたる13系統で目標達成できた。一方で、⑯の達成率は2か年続けて80%未満となっており、沿線人口の減少等が原因だと考えられる。また、⑯⑯については同時期に本格運行に移行した⑯⑯と比較して利用が定着していないと推察される。⑯⑯については、同エリアで運行するオンデマンド交通に利用が移行しているものと推察される。

今後の課題、対応(Action)

⑯⑯については、地域の理解を得たうえで令和8年1月に路線を廃止した。

乗合タクシー及びコミュニティバスについては、目標未達成の系統において地域との意見交換会を実施し、運行形態の変更も含めた見直しを検討していく。R5.12から免許返納者が期間限定で乗車運賃半額で利用できる制度を創設していることから、免許返納者への当該制度の周知に努める。

まちなか循環バスについては、延岡市バス利用促進協議会との連携による小学生の運賃無料期間に合わせたキャンペーンをはじめ、バスの乗り方教室やバスでの出かけ企画等を実施し、利用を促す。また、⑯⑯については接続する⑯⑯⑯⑯と併せ利用促進を図る。このほか、市の福祉部門が実施するケアプリのべおかやまちなかで開催するイベントとの連携により利用を促すとともに、地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画に基づき、最適な路線の構築を目指していく。